

山下未華

Mika Yamashita

今、毎日 笑顔で過ごせてますか？

私がひよ子こども園を選んだ理由

「今、毎日笑顔で過ごせていますか？」と問われたとき、即答できなかったのが以前の私でした。前職の保育士としての日々は決して嫌いではありませんでしたが、心から楽しいと言える環境ではなかったのです。

ひよ子こども園を初めて見学した際、私が最も印象に残ったのは、子どもたちも先生方も笑顔で過ごしていることでした。「子ども主体の保育」を大切にされており、その理念が具現化している姿に強く共感しました。ひよ子こども園では、子どもたちが主体的に『遊ぶ＝学ぶ』環境が整っており、職員が自分の時間をしっかり確保できる仕組みがあることも魅力的でした。有給休暇の100%取得、ノンコンタクトの1時間



休憩、事務作業の時間等のおかげで職員一人ひとりが余裕をもって保育に取り組めるのです。

このような環境ならば、心から笑顔で子どもたちと向き合い、保育士という仕事に誇りをもてるのではないかと感じ、私はひよ子こども園で働くことを決意しました。

おかげさまで、休日だけでなく仕事終わりにもSAGAアリーナや照葉積水ハウスアリーナに同僚とB.league観戦に行けるようになり、家族や愛犬との時間も増え、プライベートが充実しています。

主幹保育教諭としての挑戦

転職してから半年が経った頃、主幹保育教諭の内示を受けたときは大変驚きました。しかし、それ以上に嬉しさとやりがいを感じた瞬間でもありました。これまでの保育経験を評価していただけたことが自信につながり、「クラス担任とは違った大きな責任を担ってみたい」と思うようになりました。

主幹保育教諭の役割は、園全体を見渡しながら、職員のサポートや園の運営にも携わることです。子どもたちだけでなく、先生方の関係性をより良いものにすることも重要な責任のひとつです。新たなチャレンジを通じて、私自身が成長しひよ子こども園に貢献したいと思います。

尊敬できる園長・副園長

ひよ子こども園に来て、私は社会人として尊敬できる方々と出会うことができました。園長先生の第一印象は、柔和で安心感のある方でした。そして、私がこれまで培ってきた能力をすぐに見抜いてくださいました。

また、副園長先生は、私がやりたいことに対して最大限の支援をしてくださる方です。どのようにすれば実現できるかを一緒に考えてくださり、最善の方法を提案してくれるため、大変心強い存在です。

このような上司に恵まれたことで、私は毎日安心して働くことができています。大人になってから「この人を心から尊敬できる」と思える方に出会えることは、人生において大きな収穫だと感じています。

目指すひよ子こども園の未来

私が目指すのは、「毎日仕事が楽しかった」と思いながら退勤できる園です。先生方が笑顔で働ける園であれば、その明るい雰囲気は自然と子どもたちにも伝わり、子どもたち

もののびのびと楽しく活動できるようになります。保育士が心と体の余裕をもてることは、質の高い保育につながると考えています。

また、職員同士が助け合い、学び合える園にしたいと思っています。スキルを十分に発揮できていない方や、もっと学びたいと感じている方には、ひよ子こども園でぜひスキルアップしてほしいです。私自身も、これまで保育について悩み続けてきましたが、ひよ子こども園に来てからは、それらが少しずつ形になり、成果として表れることを実感しています。

だからこそ、私は自信をもって「ひよ子こども園」を自慢できます。



山下未華（やましたみか）
令和7年4月1日から、ひよ子こども園かみねの主幹保育教諭を担う。
保育士9年目に保育の幅を広げたく、ひよ子こども園かみねに入職。
趣味は、B.league観戦。佐賀バルナーズ、ライジングゼファー福岡を応援中。